



「川の再生」活動・農業用水路の整備を実施中 ～川の国埼玉はつらつプロジェクト～

河川面積割合が日本一の埼玉県！

埼玉県は、県土面積に占める河川面積の割合が約4%を占め、全国ナンバーワンです。

その中で、埼玉県東部に位置する当センター管内では、都市化した地域でありながら水と緑に恵まれた田園地帯のゆとりを併せ持つなど、河川や農業用水等の水辺空間は多くの資産を有しており、その維持や再生へのニーズは高まりつつあります。

そこで、県では、県民の皆様が愛着を帯びるような魅力ある河川の実現を目指し、平成20年度から「川の再生」活動に取り組んでいます。平成29年度からは「川の国埼玉はつらつプロジェクト」事業がスタートしました。

プロジェクトの内容は？

当センターの事業対象施設は、農業用水路です。

水路の機能を維持しつつ、親しめる水辺空間の実現を目指し、県や市が整備を実施しています。

【当センター管内 実施箇所のご紹介】(表紙写真)

- ① 二郷半領用水路地区 (施行地 吉川市)
 - ・平成29年度事業完了
 - ・事業主体 吉川市
 - ・整備内容 散策路 540m
- ② 東京葛西用水地区 (施行地 八潮市)
 - ・事業期間 平成29年度～平成32年度
 - ・事業主体 八潮市
 - ・整備内容 親水化整備護岸 7800m
- ③ 出羽堀地区 (施行地 越谷市)
 - ・事業期間 平成29年度～平成32年度
 - ・事業主体 埼玉県
 - ・整備内容 環境護岸整備等 5000m

【お問合せ】

整備支援・管理担当

☎ 048-737-2112

川の再生



コバトン&さいたまっち



地域の新たな特産品づくり ～栗たんかぼちゃ～

栗たんかぼちゃとは

栗たんかぼちゃ(品種名:ほっとけ栗たん)は、ほくほくとした食感で、甘みの強いかぼちゃです。また、小づるの発生も少なく、果実が株元近くに着果しやすいため、既存の品種と比べ、枝の管理や収穫の労力が少ないことが特徴になります。

当センター管内では、この夏、久喜市、春日部市、蓮田市などで栗たんかぼちゃが20a程度栽培されました。久喜市内の量販店や、JA南彩の直売所、久喜市内の給食センターなどに出荷されたところ、大変好評でした。

新たな特産品へ向けて活動中！

栗たんかぼちゃを地域の新たな特産品にするため、当センターはJA南彩と連携し、さまざまな取組を行っています。今年度は、久喜市の各生産者集団(計38名)を対象に、基本的な栽培技術の定着を図るため、開花期や収穫前の栽培講習会や、巡回による栽培や病害虫防除指導などを行ってきました。

栗たんかぼちゃを地域の特産品として売り出していくためには、品質の向上維持が不可欠です。また、多くの方に栗たんかぼちゃを召し上がっていただくためには、栽培面積をさらに増やしていく必要があります。今後は、収穫適期の見極めや、適切な追熟期間の確保、生産者及び栽培面積の拡大に向けて引き続き支援を行っていきます。

栗たんかぼちゃが売り場に並ぶのは、例年7～8月頃となります。お見かけの際はぜひお手に取りください。



▲栗たんかぼちゃ



▲量販店での販売の様子

【お問合せ】

技術普及担当

☎ 048-737-6311